

# 土岐・運・来

## 『自然・馬・人の会』

いま始動！

創立の挨拶にかえて

こんには。このたび小田原に、「自然・馬・人の会」が発足することになりました。平成九年夏に小田原在住の、女三男の三人が、障害をもつた方を含めた体験乗馬会を是非小田原でやってみようと集まりました。三人はそれぞれ学校の教師、百姓、自営業というふうに違う職業に携わっています。その三人が乗馬療法協会の「出前乗馬」という話をそれ耳にして、人から人へと紹介されて出会いました。お互いに小田原に在住していながら出会ったのは横浜だつたり、東京だつたりして出会いというものの不思議さを感じました。しかしお互いに現代の生活の在り方に疑問を感じ、むしろ自然ともっと密接な関係をもつた生活を作りたいという思いでは一致していました。そしてそのひとつの方としていました。



今、時代は大きく変わろうとしているように思われます。最近では、私たちと同じような乗馬会が、いろいろな所で行なわれているのをテレビや新聞で目にします。それ 자체は小さな動きのようですが、しかしその動きの奥には行き詰まつた現代の文明の在り方を変えていくとする意志が感じられます。そして馬の優しさに象徴されるような新しい時代への期待と鼓動を感じます。それは、かつて小田原に生まれた北村透谷の選んだ「土岐・運・来（ときめぐり・きたる）」という言葉が、明治といいう新しい時代への期待と明るい思いを表しているのに通じているのではないかでしょうか。透谷が明治といいう時代を時（土岐）が巡（運）つて来たと表現していることは、今私たちが感じているものと同じなのかも知れません。透谷が亡くなつてから百年以上経っています。しかし土岐が運つて来て同じような思いをこの小田原で感じている。このことは偶然ではないような気がします。

（代表：桜井広利）

会報「土岐・運・来」第一号  
発行：自然・馬・人の会

発行日：平成九年九月一日

問合せ先：〒250

小田原市城山1-3-22

実行委員として一緒に活動しています。

TEL：0465(32)1308 FAX：0465(32)1332

## 牛・馬と人間との かかわり

自然と共に生きる

我が家は、四世代同居の兼業農家である。ひいじいちゃんが若かった大正の時代から今まで馬や豚を、農業トラクターを導入するまで牛ややぎを飼っていた。

昭和四十年くらいまで牛ややぎを飼っていた。にわとりはたまごを産み、ねこは、

ツバメを荒らすねずみを捕まえては人間に養めていた。時代、動物たちは、愛玩するためのペ

ットではなく、人間の生活を助ける重要な家族だった。にわとりはたまごを産み、ねこは、

米を荒らすねずみを捕まえては人間に養めていた。ほしくて、口にくわえて見せにきた。牛や馬

といえば、荷物を運び、田を耕す原動力となり糞までが土に還って肥やしとなつた。

おばあちゃんは、「昔はそれからそれへ生活が忙しかったし、家から離れられなくて、今

のように、こどもを遊びに連れてなんかいかれなかつた」と、レジャーを楽しむ家族連れのニュースを見ると、口癖のように言う。

また、彼岸にお墓参りに行くと、帰り道に、途中にある『馬頭観音』にも香の花をたむけ

ることが習慣になつており、動物たちへの感謝の気持ちを忘れてはいられない。

現代のペットブームの風潮とはちよつと違う人と動物の関わりが、昔の生活でも見られたのである。

(実行委員・諸星澄江)



## 《乗馬療法》とは何か

一言に言えば、障害者の心身のリハビリを馬に触ることにより行なつていこうというものです。乗馬は適度な筋肉運動とバランス感覚が必要とされるという身体面での効果、また大きな馬を操るという自信と自律心を養えるという精神面での効果が得られます。なにしろ馬は生き物なので、触れ合い仲良くなるといった楽しさも味わうことも可能です。そして必ず騎乗者の手助けをする人がいて、障害のある人も、障害のない人も、馬を媒介にして交流していくという世界を広げる機会をもえてくれます。

## 小田原で馬に乗れた!

### サドルバック乗馬体験

障害者乗馬を企画するならば、自分たちがまず馬と触れ合い、乗つてみる。そして楽しきも怖さも経験しなくては、と実行委員は七月と八月、乗馬を体験した。

場所は片浦にあるレストラン『サドルバック』。オーナー高橋氏が四頭の馬と三頭のボニー、子馬一頭を飼い、レストランの側の土地で希望者に騎乗させてくれるのである(有料)。

とは常足、時には速足まで馬が動いてくれる。しかも相模湾を望む、元はみかん畑の山肌である。木立を抜け、草を踏み、馬を操りながら坂を登り降りする。乗馬クラブの馬場とは一味違う自然の中で、大人も子供ものびのびと夏のひとときを楽しんだ。

興味のある方は気軽に行つてみたらどうだろう。そして馬の楽しさを知つて欲しい。

連絡先:『サドルバック』高橋

初心者も引き馬ではなく自ら手綱を握る。あくよく調教されている馬なので、まったくの

## 障害者乗馬での

### サポーートを通して

九州、「ベガサス」での体験からふたを開けてみれば、そこには少しの競争もない世界。誰もが、それぞれの持つている力を出すことを認め合い、助け合い、それが楽しくて思わず二コツとしたいくなる――私たちが日本の教育を受ける中で久しく忘れていた社会。

これがひょんな事で「長崎雲仙コロニー内ワークショップ」ペガサス」という馬七頭、ほか羊など人間二十人程の牧場に一ヶ月のお手伝いに飛び込んだ私の感想です。障害を持つと特定された人々と共に暮らした生まれて初めての一ヶ月間。彼らの「一生懸命働くよ、でも楽しく生きるよ!」の姿勢は、ちょっと触れただけでも私の心に沁みま

した。

これまで離れていた小田原に今帰ります。

自然と馬との出会いの中で、またあの時のような本来の自然な出会いができたなら、とワクワクしています。

(実行委員)まよべえ(こと木下雅代)

## 実行委員会開催日程

四月二十七日：第一回会合

五月二十五日：第二回会合

六月二十一日：第三回会合

六月二十二日：サドルバック乗馬会

七月十三日：第四回会合

七月十九日：第五回会合

八月三・四日：サドルバック乗馬会

八月三日：第六回会合

八月二十二日：第七回会合

九月六日：第八回会合

九月七・二十一日：バザー参加

十月四日：第九回会合

十月十二日：ボランティア講習会

九時～十二時(旧三の丸小学校跡地)



## ◆体験乗馬会開催します◆

普及のためには、まずは乗馬の楽しさを広く知ってもらうことが先決でしょう。そこで乗馬療法の専門家の協力のもと、次の要領で体験乗馬会を開催することになりました。

悩みや不安は取りあえず脇に置いて、ものは試しに一度乗ってみませんか?

会場でお待ちしています。

日時：平成9年10月26日(日)

午前10時～午後3時

場所：旧三の丸小学校跡地

※駐車場あり

但し台数が多い場合は市営駐

車場等をご利用いただきます。

対象者：①障害のある人～事前申し込み  
(障害の種類・等級を問いません)

②中学生以下の児童～当日受付

参加費：500円(保険代込み)

申込方法：各社会福祉施設または社会福

祉協議会などの公共施設にある

(郵送請求も可)申込書に必要事  
記人のうえ連絡先まで送付を。

連絡先：〒250 小田原市柏山375-1

中村悦子まで

## 協賛金（目標額七十万円）

十万円（平成九年八月末日現在）  
協賛者

吉川孝昭「魚國商店」・菊地智恵子・鈴木清  
恭・みのや・・中村章彦・古谷圭子・望月知  
子・北村さち子・佐伯晶子・石田恵・古谷千  
代子・磯崎隆・大久保克彦・國原清・成川敬  
枝・露木一郎（SHAMNECO COMPANY LTD.）・中

島基行・小林歩・二宮正隆・池田恵子・垣田

美砂子・鈴木晴巳・原信子・吉田伸弘・吉田

繁子・奥津葉子・黒柳優子・窪田きみ・勝亦

伊志子・常見康夫（株）ダスキン・秋

原任・瓜生良介・二宮呉服店・光岡歟・若原

博之・諸星澄江・匿名・名

会員

竹村萌・岩瀬照子・川久保彰斗・待寺優・岡

崎里司・佐久間英・・上田亮子・新藤美代子

・奥津かおる・奥津一斗・中村絵美・古谷圭

子・府川成子・北村さち子・成川敬枝・中野

佐佳枝・露木一郎（SHAMNECO COMPANY LTD.）

（順不同・敬称略・平成九年八月末日現在）

実行委員

桜井広利・加藤憲一・中村悦子・村上幸子・  
小野徳子・三村英治・三村由子・寺岡まり子

村山容子・奥津美代子・小川絵津子・諸星澄

江・長橋えつ子・村山ますみ・高橋佳子・森

裕美子・天野謙二・天野恵子・佐田喜郎・佐

田由美子・澤野恵美・木下雅代・佐藤典昭・

福島高男・土屋真一

## ボランティア募集

一緒に活動してくれる仲間を募集しています。  
す。ボランティアをしてみたい。小田原で馬  
に乗ってみたい。自然が好き。いろんな人と  
めぐり逢いたい。そんな方々、少しでも「樂  
しそうだな」と思つたら早速ご連絡ください。

次の二つの種類があります。  
①実行委員  
主として月一回程度土日に会合し、  
会の運営に当たります。年会費六千円。

②乗馬会当日ボランティア  
十月二十六日の乗馬会のみ参加。バ  
ザーや乗馬でのお手伝いです。乗馬に  
ついて研修有り。参加費無料。弁当持  
参。

## 会員募集

実行委員は無理だけど、乗馬や自然に興味  
があるという方、仲間になりませんか。

①内容・会報送付  
・十月二十六日以降の乗馬会の  
お知らせをいたします。

・その他

②年会費 千三百円（一世帯）

## 協賛者・協賛金の お願い

小田原で自然と人との触れ合い、乗馬療法  
の場が実現できるように、今後ともご協力を  
お願いいたします。

一口 千円（現金書留または郵便振替で）

郵便振替口座

00270-4-79944

自然・馬・人の会

お時間の許す範囲でのご参加を、お待ちして  
います。

◆◇◆申込用紙は各福祉関係施設、または社  
会福祉協議会・市役所など公共機関にありま  
す。また資料請求・申込み・問い合わせは発

行元まで電話か手紙・ fax で。お近くに実行委  
員がいる場合は直接申し込まれてもかまいま  
せん◆◇◆